

## 令和3年度第2回鳥取市男女共同参画審議会 議事録

1. 開催日時 令和4年2月15日(火) 午後1時30分から午後2時55分

2. 開催場所 鳥取市役所本庁舎2階 市民交流センター 多目的室1

3. 出席委員 (8名)

会長	米澤洋子	副会長	村田憲太郎
委員	谷口尚子	委員	土橋周美
〃	田中幸子	〃	嶋田耕一
〃	田中忠義	〃	福田克彦

4. 欠席委員 (7名)

委員	齋木和紀	委員	宮脇浩介
〃	徳田純子	〃	山崎久美子
〃	中井みずほ	〃	藤田浩二
〃	三谷浩子	〃	

5. 事務局

人権政策局長	武田敏男
男女共同参画課 課長	池上朱美
男女共同参画センター 所長	安本哲哉
男女共同参画課 課長補佐	蜂谷知哉
男女共同参画課 主任	山内倫代

6. 議事日程

1 開会

2 あいさつ

3 議題

- ・「第4次鳥取市男女共同参画かがやきプラン」の取り組み状況について
- ・生理での悩みや困りごとについて(インターネットアンケート調査結果)
- ・男女共同参画センター「輝なんせ鳥取」啓発講座
- ・鳥取市男女共同参画かがやき企業認定委員会の結果について
- ・女性に対する暴力をなくす運動について
- ・男女共同参画講座(出前講座)について

- ・第28回女と男とのハーモニーフェスタについて

#### 4 その他

#### 5 閉会

### 【議事要旨】

#### (1) 事務局より説明

- ・10月6日から12日にかけて「生理での悩みごとや困りごとについて インターネット調査」を実施。回答者数522名より回答。  
調査の背景には、政府の男女共同参画会議で、「女性活躍・男女共同参画の重点方針2021」に経済的な困窮で女性用品を入手できない「生理の貧困」への対策が初めて明記されたこと。また、経済的な問題だけではなく、生理についての知識不足等で悩む女性や女兒の潜在化や、女性だけでの問題でなく、社会全員の問題として様々な問題に取り組むため実施。
- ・男女共同参画センターで開催した啓発講座を説明。プランに沿った講座の開催を紹介。
- ・かがやき企業認定企業の紹介、令和3年度は新たな認定企業が8社増加、継続認定した企業10社を合わせて、現在44社。
- ・市男性職員の育児休暇取得率を説明、令和2年度の22名中6名の取得に比べ約23パーセントの増加。

#### (2) 主な意見等

##### 【生理での悩みや困りごとについて（インターネットアンケート調査結果）】

- ・ラインアンケートについて、回答された内容を十分に生かしていただけるような施策を展開して欲しい。また、今回は女性が対象だったが、男女共同参画の観点から男性にもアンケートを取っていただきたい。その際にはテーマを十分に検討していただきたい。
- ・「生理の貧困」について、結局一番底にあるのは女性の健康や体の問題の認識が男女とも出来ていないのが問題。
- ・ラインを活用したアンケートは大変良い方策だと感心した。自由記載は普通そこまで記載しないと思っていたが大変参考になることが書いてあった。今後の取り組みに参考していただきたい

##### 【鳥取市男女共同参画かがやき企業認定委員会の結果について】

- ・かがやき企業の認定について、市内の企業数に比べて登録が44社はかなり少ない。企業の経営者自身があまり必要性を感じていないのかもしれないため、今後、企業訪問などを行われる際には、担当者レベルではなく経営トップの方に直接話す必要があると

感じる。

- ・県と市も目的は同じであるので、学生などが制度に縛られて働くよりも取り組みなどに魅せられて自分らしく働くことができる、といった意見をニュースで聞いたことがあり、そのような点からこうした取り組みはメリットがあるものと感じる。
- ・制度的には育児休暇や介護休暇、フレックスタイムなど取りやすい休暇が、紹介してあるが、実際に働いている人の問題として本当に取りやすい休暇制度になっているかといった見直しも行うことが必要。
- ・経営者が意識を持ってくれば、このような制度がなくても運用はできると思うが、経営者にそういった意識が不足しているため制度をつくっても運用できていないのが実態ではないか。

#### 【メディアリテラシーへの取り組みについて】

- ・学校でのメディアリテラシーは大きな課題になっている。メディアの方に集中しすぎて生活習慣が乱れる、また、SNSへ投稿することで人権問題とかに発展してしまうというような意見があるので、学校の中では課題意識を持って取り組んでいる。そのため、校長会などでもPTA連合などとも協力している。本校の例でいえば1年生から6年生まで各学年に合った形でメディアリテラシーの学習に取り組んでいる。子どもたちだけにアプローチしてもなかなか変わらないため、保護者に対してもメディアに対する付き合い方として講演会を設け家庭面からもアプローチしていただくなどお願いしている。

#### 【男女共同参画の視点に立った防災活動の推進について】

- ・女性の視点を取り入れた防災について、市の男女共同参画の取り組みは地域をメインに取り組んでいる。組合とかそういった所には回っておらず、私の組合では今、取り組みを進めており水や食料や簡易トイレとかといった物資を備蓄しているところ。また、防災の伝達をラインワークスなどにより利用している。そのような取り組みは事務局の女性が中心になって取り組んでいる。鳥取市の東部には20くらいの組合があるので、そういった情報を企業よりも組合に流すなどした方がいいと考えている。